

議事録

令和7年12月23日(火)

会議名	2025年度 第1回 放送番組審議会
日時	令和7年12月19日(金) 14:00 ~ 15:00
場所	竹原商工会議所 201会議室
出席者	委員会：宮原委員長・森木副委員長・柄崎委員・北丸委員・用田委員 和久利委員 タネット：近藤常務取締役・吉原取締役(制作部部長) 坂井篤子(制作部副部長) 以上9名

内 容

冒頭、近藤取締役より挨拶があった。
宮原委員長の挨拶に続いて議事へ進行した。

議 事

1) 審議テーマ：池田勇人没後60年記念 池田総理夫妻・人間力～今につづく活力～

○竹原市の偉人について、資料もそろえられてよかったです。

次の2点をお聞きしたい。

1. 池田勇人の遺産「人」「物」がどのように残っているのか
2. 放送の予告をもっと広くできれば…人に広めたい

○生涯や妻の支えについて勉強させていただき、竹原の偉人である池田勇人さんについて詳しく知れてよかったです。

吉名学園を除き竹原にこんなすごい人がいるということを各学校にDVD配布してみてもらえば、今の子供たちに誇りを持ってもらいたい。

○市長選挙も行われているが人口が減っている。何年かしたら2万を切る…

また、旧市役所をどうするか、ゆめタウン跡地をどうするかといった課題もある中で今井政之先生をはじめ、池田総理の軌跡を残すこと、
今あるものを再確認するというのは大事。

学校や教育長にも相談して、VTRを50分などにまとめて貸し出すなど教材として使えれば…これはタネットにしかできないこと。

○政治的なものに対して一般市民が意見する余地がない。

タネットの技術的な面を審議するとは言っても偉人のビデオを見てコメントすることができないというのが正直なコメント
強いて言えば広島弁・竹原弁をもっとPRしてほしかった。
幼少期から順番を追って紹介したらよかったです。

「貧乏人は麦を食え」という池田氏の発言があるが、その根幹をわかりやすく説明したほうがいいのではと思う。
総理大臣になるまでの経緯を、順を追って一般市民に分かりやすいように表現したら膨大な資料を基に作られたということに感心。

○所得倍増計画も戦後復帰のひとつで冷蔵庫・テレビ・洗濯機で始まり世の中が徐々に景気が良くなり繁栄した10年…
その最後の火付け役になったのがオリンピックで、それに携わった池田氏は何か持っているものがある。格好いい。

●タネット側

遺産・遺品について過去は竹原美術館のほうへ保管されていたが、現在は竹原美術館では保管できずほかの場所に保管されている。
記念に残る品については全てそのようになっていると聞いている。

政治的な話については、池田勇人氏と政治というものは経歴も含め切っても切り離せないものだと考えている。

どういった思いで生きてきたかを表現したかった。
この話を見て政治に参画してほしい、考えを巡らせてほしいという思いがあった。
小・中学生へ教材としての提供については、学校に限らず交流センターも含めDVDが配布できないかという話もこれまであったが、諸事情があり現在のところ出来ていない。

池田氏の「貧乏人は麦を食え」という発言については、家族や「所得倍増の男」著者の松平さんに確認したところ、前後のストーリーがある。
当時のマスコミが現代のように一部だけ切り取り、誇張して表現していたという意見もある。

公共放送の会社であり、本当はよりいろいろな面で会社としての主張をしていきたい。
行政と話をするにおいて地元が生んだ偉人について竹原にいる人が銅像を見て「誰?」ということがある。

吉名学園生徒自らが劇で紹介するという動きがあった。しかし、ほかの学校の小・中学生は知る機会がない、知ろうという機会もない。

流していいのかとも考えたが、竹原が生み出した偉人というものの、このような人物が竹原で生まれていった。それを知ってもらいたい、知らせる義務があるのではという思いで踏み切った。

これはぜひ市民一人一人に知ってもらいたい。

大筋の中で池田氏が取り組み、妻・満江さんかかわって日本の歴史として功績を残した人として誇りをもってほしいという思いで制作した。

公平公正が大前提の中で放送できるぎりぎりのことをやらせてもらった。

○遺産は、“物”に限らず「人の想い」であったりそういったインタビューなどもあればという思いで聞きました。

●タネット側

親族などの出演はなかったが、親族から聞いた当時の池田さんの生の声と
いうのは脚本に入れ込まれ、VTRに取り入れている。

○平山郁夫さんや今井政之さんなどそういった方も同様に取り上げていただければ。
さかのぼると頼山陽など。

●タネット側

資料がなかなか取り揃えられなく難しい場合もある。
今言ったような人たちは比較的簡単に取り上げられるが、政治や宗教となると非常に
難しい。

○編集・放映はどの程度タネットが関与されているのか。
全体のうちどのくらいの割合担当しているのか気になるという視聴者の意見が多か
った。

●タネット側

VTRに掲載、配布資料へも記載があるのでそれを紹介。

○時系列で紹介してくれないとなかなか分からぬところがある

○これがケーブルテレビで作られたのかという驚きの気持ちというのが率直な感想。
NHKでやっていてもおかしくない。もっといっぱい偉人が出でてくれればいいんですが。

●タネット側

再現ドラマというのが作るのが難しいため資料に頼ることが多い。
今回は大量に資料をもらえたのでどうにかなったが、歴史上の人物となると
難しいかもしれない。

○ナレーションがすごいと思った。

●タネット側

それは苦労した。毎日一定した声を出すというのが難しい。

締めくくりに、弊社の現状を確認してもらうため加入状況の資料に目を通してもらう。
近藤常務より、まだまだ伸びる余地があるのではないかという共通認識で運営を行って
いる。「みんなで竹原を盛り上げよう」、「タネットに入ろう」という市民が増えてくれ
ればというのが正直な気持ち。

また、挨拶について徹底して取り組んでいることを伝えた。

最後に森木副委員長より、「受け手の市民のリテラシーを上げる市民教育が必要だと感
じる。あらゆるリテラシーを上げる番組づくりをしてもらえば。安心して暮らせる町
づくりにも寄与すると思う。」とコメントをもらい会議終了。

以上